

目次

目次	・ ・ ・ ・ ・	I
0. 平成18年度「西欧中世比較史料論研究」活動について	・ ・ ・ ・ ・	1
1. 研究会 「説教史料論の最前線」	・ ・ ・ ・ ・	5
赤江雄一 「ラテン語で説教を書き、俗語で説教を行なう説教者の心性 －範例説教集と説教術書の分析から－」	・ ・ ・ ・ ・	6
大黒俊二 「説教史料と史料論、テキスト学 ー方法論的考察ー」	・ ・ ・ ・ ・	10
岡崎 敦 「西欧中世説教研究と史料論」	・ ・ ・ ・ ・	18
2. 研究会 「地中海世界の文書史料論」	・ ・ ・ ・ ・	21
足立 孝 「地中海研究における史料論の可能性 －「紀元千年」と史料論的方法論のゆくえー」	・ ・ ・ ・ ・	22
西村善矢 「紀元千年モンテ・アマータ修道院の地代リストをめぐって」	・ ・ ・ ・ ・	25
加藤 玄 「豪華写本中の「カルチュレール」 －サン・スヴェール修道院の『ベアトウス黙示録註解』を巡ってー」	・ ・ ・ ・ ・	29
丹下 栄 「地中海世界史料論へのコメント」	・ ・ ・ ・ ・	35
城戸照子 「地中海世界史料論の3報告コメント」	・ ・ ・ ・ ・	37
3. 研究会 「イングランドと大陸王文書の比較研究」	・ ・ ・ ・ ・	41
森 貴子 「中世イングランドにおける王文書の展開 ーヘンリ2世期までー」	・ ・ ・ ・ ・	42
安部恵里香 「ヘンリ2世の王文書と大陸統治」	・ ・ ・ ・ ・	49
梅津教孝 「メロヴィング王文書とカロリング王文書 ーその形の比較を中心にー」	・ ・ ・ ・ ・	53
岡崎 敦 「初期カペー王の文書 ー統治と文書形式ー」	・ ・ ・ ・ ・	59
足立 孝 「王文書史料論へのコメント」	・ ・ ・ ・ ・	65

4. 研究会 「前近代西欧における文書管理」	67
(アーカイヴス比較史研究会との共催)	
堀越宏一 「文書管理と王権 ―フランス絶対王政期を中心に―	68
花田洋一郎 「近世ロンドンとパリにおける人口史料について	71
―ヴァネッサ・ハーディング氏の業績をめぐって―	
徳橋 曜 「イタリアの中世商業文書の在り方 ―フィレンツェを中心に―	77
岡崎 敦 「前近代西欧における文書管理 ―国家、都市、商人―	80
5. シンポジウム 「記憶の管理と文書の伝来」	83
(九州史学会大会との共催)	
坂上康俊 「日本古代中世文書の伝来経緯について	85
―韓国・中国・西欧との比較のための予察―	
岡崎 敦 「「文書伝来」問題とはなにか ―個別報告と総合討論―	92
渡辺浩一 「コメント ―日本近世史・アーカイブズ学の立場から―	96
森本芳樹 「国際比較史料論の新たな展開	102
―シンポジウム「記憶の管理と文書の伝来」の意義―	
6. シンポジウム 「中世社会経済史研究と史料論」	107
(九州史学会西洋史部会との共催)	
丹下 栄 「西欧中世初期文書における所領表現の位相」	108
大宅明美 「中世後期ボワチエにおけるコミューヌ権力と都市周辺地域	111
―軍事的義務分担者リストの作成と伝来に関する一考察―	
山田雅彦 「小シンポジウム「中世社会経済史研究と史料論」によせて	118
―到達点と今後への期待―	
城戸照子 「シンポジウム「中世社会経済史研究と史料論」についてのコメント」	122